

デビューブランドや韓国発など多彩

合同展アンピانس18年春夏 時期早めアピール強める

国内外の新進、若手ブランドを集める合同展、アンピانسの18年春夏向けは、デビューしたのブランド、新たに韓国のショールームと組んで招いた韓国ブランドほか、ニットブランドやアクセサリーと、24の多様なブランド、商品が見られた。ビジネスとつなぐ役割を強化するため、今回から開催時期を早めてバイヤーにアピールした。

18年春夏デビューのレディス「ヨーソー」は、パタンナーとして経験を積み、パリを拠点に活動する本郷佑佳がデザインする。ブランド名は、一から一人で作り上げることをイメージして洋服店から



ヨーソー



タージュ

取った。パターンの取り方が独特で、アームホールからねじるようなラインで縫い合わせたポリウレタン袖のブラウス、中心線やウエストベルトのラインがずれたスカートがあり、どれもふんわりとした印象のデザイン。比翼からボタンが少し顔を出すシャツ、ニットのプルオーバーのシルエットを表現した布帛のトップもある。線の重なりを表したプリントは手探染。卸価格はジャケット130~160万円、トップ80~110万円、ボトム100~130万円。

「タージュ」(高田祐子)はフルオーダーから始めて製品部に転じた、カットソーを得意とするレディスブランド。カットソーといっても、アイテムはしっかりとしたジャケットやスカートで、布帛も含め、おしゃれでリラックスした大人のタウンウェアが揃う。タージュは先まで縫わずに途中で放して柔らかな膨らみにするなど、ディテールの作りにも凝る。丸編みでも表面をローラーでつぶしてフラットにした加工、コットン・アセテートのチェックのジャカードと、素材自体も面白い。小売価格でジャケット2万2000円から、スカート、プルオーバー1万9000円など。

ジュエリーの「サカ」(坂俊昭)は、彫刻のようなフォルム、心地よいフィット感を作り出す。指輪は輪が繋りの指にも滑りながら、指と指の間にモチーフが乗るよう設定したデザインも。小売価格は18Kで10万~30万円、シルバー2万円から。

韓国ブランドは、韓国のトラディショナルから引いたデザインやストリートのパワーを感じるアイテムが増った。

「ディーモーメント」は韓国の古い建築物やハン글文字をイメージし、筆やステッチ、ジャカードで描いた柄物が中心のレディス。柄を楽しむだけでなく、アシンメトリーフォルムの大人っぽいアイテムもある。

「スーウー」は2サイズのみユニセックスブランド。ずらり揃えた、だぼっと羽織るビッグコートは、大きなフードと背中にタイポグラフィのペイントがのる。色はカーキ、黒、白、赤。

「ムーンリー」はロンドンのショールームやパリでも見せている。肩ひも、身頃に飾ったひもは、チマチョゴリをイメージしている。大きなノットをポイントにしたドレスが可愛い。



サカ



ディーモーメント



スーウー



ムーンリー